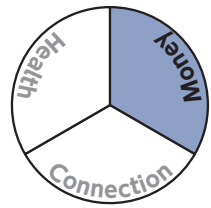


# 「オルタナティブデータ」ってなに？



経済調査部 主任エコノミスト 阿原 健一郎(あはら けんいちろう)

## 「オルタナティブデータ」ってなに？

オルタナティブデータとは、主に金融領域で使われてきた伝統的なデータ(決算情報や経済統計)に対し、デジタル化の進展により、新たに活用できるようになったデータ全般のことを指します。従来は、分析できるほど十分に収集できなかったデータ、またはそもそも存在しなかったデータが、技術の進歩により大規模、高速で収集可能になり、近年では、金融の投資判断のみならず幅広い分野で活用が進んでいます(資料1)。

具体的にどのデータがオルタナティブデータなのか、明確な基準があるわけではありませんが、オルタナティブデータは伝統的なデータと比較して、「速報性が高い」、「高頻度」、「高粒度」といった特徴があります。これらは伝統的なデータにはない利点である一方、もともと調査・分析のために収集されたデータではないため、サンプルに偏りがあることや、利用にコストがかかる等の欠点があります(資料2)。経済分析の分野でも、これらの特徴をうまく活かして分析することで、伝統的なデータからは得られなかった様々な知見が得られるようになってきています。

## 経済分析でも活用が進むオルタナティブデータ

経済分析での活用方法の一つとして、オルタナティブデータの速報性の高さ、更新頻度の高さを活かした、ナウキャスト(ごく足もとまでの予測)があります。伝統的な経済統計は、サンプルの偏りが小さく、客観的で信頼性の高いデータですが、データの集計・加工に時間がかかるため、1~2か月程度公表が遅くなります。そのため、経済統計の代わりに、日次や週次で公表されるオルタナティブデータを活用し、早期に経済状況を把握しようという試みが行われています。代表的なものに、クレジットカードデータを利用した、消費動向の把握があります。日本でも、クレジットカードの支出情報は、経済全体の個人消費の動向をいち早く把握できるとして、政策効果の分析だけでなく、公的機関の景気判断にも活用され始めています(資料3)。そのほか、POSデータを利用したインフレ率の予測や、船舶の位置情報を利用した貿易統計の予測等、オルタナティブデータの経済分析への活用が広がっています。

### 資料1 経済分析で使用されるオルタナティブデータの例

#### 【消費関連】

- ・POS データ
- ・家計簿アプリデータ
- ・クレジットカードデータ
- ・レストラン予約件数データ

#### 【労働市場関連】

- ・転職サイト求人情報

#### 【位置情報】

- ・スマホ位置データ
- ・船舶位置情報
- ・航空機位置情報 など

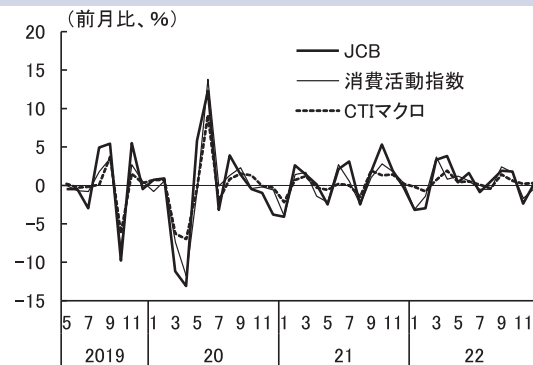
(出所) 第一生命経済研究所作成

### 資料2 オルタナティブデータの特徴

伝統的なデータ		オルタナティブデータ
低い	速報性	高い
低い	更新頻度	高い
低い (分類が粗い)	粒度	高い (分類が細かい)
小さい	サンプルの偏り	比較的大きい
低い (無償のものが多)	コスト	高い (有償の場合がある)

(出所) 第一生命経済研究所作成

### 資料3 オルタナティブデータを活用したマクロ消費動向の把握



(注1) JCBは、(株)ジェシービー、(株)ナウキャストにより提供されているクレジットカード情報をもとにした「JCB消費NOW」指数。当月の結果が約2週間後に公表される。JBCの国内での決済シェアは約28%前後だが、指数作成にあたっては、サンプル数1,000万人のデータに対し、マクロの消費動向を捉えられるように統計処理が施されている。

(注2) CTIマクロは総務省公表の総消費動向指数。公的統計をもとに世帯全体の消費支出総額(GDPの家計最終消費支出に相当)を推測している。当月の結果が翌月上旬に公表される。

(出所) 内閣府 令和5年度年次経済財政報告  
([https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je23/h07\\_cz0101.html](https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je23/h07_cz0101.html))